クラブだより

坂の町のクラブ

東灘区
渦森会
牧　文代

俗に人生には3つの坂があるという。

曰く上り坂、下り坂、そしてまさかと言うらしい。

1つ目と2つ目の坂は六甲山麓に住めば日常のこと。ドアを開ければ上るか下るかである。問題は3つ目。そのまさかに遭遇するとは思いも寄らなかった。

3年前の夏の終わり会長から健康上の理由による突然の引退の申し出。先輩の副会長がその春に退き後任の副会長の立場にあった私。会則には会長に続行できぬ理由が生じた場合、副会長が代行すると記されている。

なんということだろう。だがこうなれば次の春まではと心に決めた。

以降近隣クラブの会長方々に教えを請い役員の皆様に助けられ何とか運営してきた。が、何しろ八十路半ばの身、滑ったり転んだりの日々であったと思う。

それから2年余り。この春ついに元気な60代の米村敦子新会長が引き継いでくれた。

尚、当会は年間を通じてのバス停と公園の清掃管理でささやかではあるが地域に貢献している自負がある。

サークル活動は3つ。カラオケ、麻雀、グラウンドゴルフである。

最高齢が90代のグラウンドゴルフは会員約15名が週2回緑豊かな地域の公園で汗を流している。特にツツジの花咲く季節は参加するだけで幸せを感じる。

これからも70数名の会員が健康に楽しく親睦を図りつつ穏やかな日々を送ることを願っている。

渦森台中公園にて

地域での清掃活動・健康を兼ねて

兵庫区
矢部町白寿会
山浦　栄子

矢部町白寿会では毎月20日に「みんなの街を綺麗に」をモットーに会員の有志で、地域の清掃活動を行っています。

夏の暑い季節には水分補給、冬の寒さの中では防寒対策と、季節により注意喚起をし、体調には十分気を付けて、無理をしない程度で、コミュニケーションの場としての活動でもあります。また、なかなか外に出る機会の少ない方にとっては運動を兼ねての参加で、元気いっぱい。まさに健康のために一石二鳥です。

毎回朝の9時に集合、4つのグループに分かれ、軍手にゴミバサミ、ゴミ袋を手に地域を隈なく回ります。時には行事をご存知の市会議員が駆けつけて来られて、労いの言葉をいただくこともあり、元気づけられています。

地域のゴミは多種多様ですが、手際よくゴミ袋へ。夏は草の伸びる速さは相当なもので、抜くのに四苦八苦して。秋は枯葉を集めるのが大変。冬は寒さで悴んだ手に捗らない作業。でも春になると暖かくなり、満開の桜を見ながらの作業は皆さん「楽しみ」にも変わっているようです。

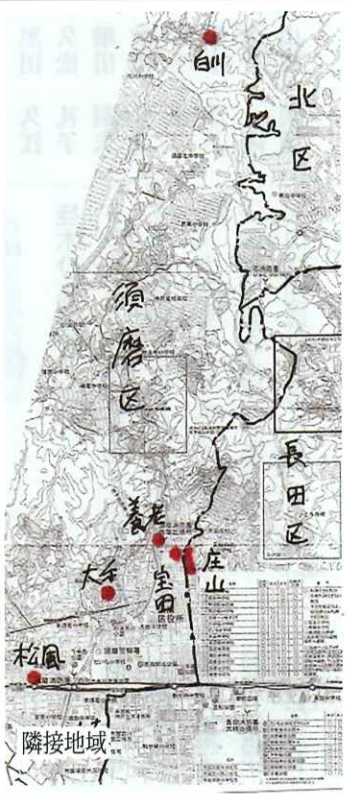
毎月発行の当会会報にも清掃日を案内。会員の参加を促しており、毎回10名から15名が参加されます。

今後も白寿会の行事の一環として、地域の皆さんと共に「みんなの街を綺麗に」を守っていきます。

どうやって会員増強できるん?
～隣接地域への声掛け～

長田区
あじさいクラブ
柏木　久雄

長田区は、ほぼ南北に細長い形状をしており、東側は兵庫区に、北側は北区に、西側は須磨区に接しています。長田区・須磨区にまたがって高取山があり、頂上付近の神社の階段が緑の少ない時期には目視出来ます。六甲縦走では馬の背を越えて須磨学園北側で妙法寺川まで下り、再び高取山に登るコースとなっています。



庄山町3・4丁目を拠点として38年前に活動を開始した「あじさいクラブ」ですが、会員増強では苦労しています。

「庄山3・4あじさいクラブ」から「あじさいクラブ」と改称したのも会員増強を願っての対策の一環でもありました。

現在、庄山町3・4丁目以外にお住まいの会員が32％もおられます。このことも名称変更の動機となっています。

自治会やふれあいのまちづくり協議会との関係はやや複雑な問題もかかえていますが、あまり堅苦しく考えずに活動しなければと思っています。

あじさいクラブの活動としては、年4回の誕生会と各種スポーツ大会の参加があげられますが、その他ふれまちの主催するふれあいひろばやふれあい寄席、自治会が行う「ちょボラ活動」などにも参加しています。これらの活動及び防災福祉コミュニティが行う防災訓練などもあじさいクラブ会員の参加を抜きにしては語れません。

庄山町以外にお住まいの会員さんは隣接地としては須磨区の宝田町、養老町、大手町、松風町、小寺町、白川と結構遠いところに散在しています。広報紙の配布や回覧には手間はかかりますが、現会員さんの友人・知人等いろんな繋がりを生かして、「会員さんいらっしゃい」と会員増強に取り組んでいきます。